



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月25日

上場会社名 株式会社ジャフコ 上場取引所 東  
 コード番号 8595 URL <http://www.jafco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 豊貴 伸一  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部 広報担当 (氏名) 緒方 健人 TEL (050) 3734-2025  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	15,755	△11.3	6,799	△25.7	7,388	△26.3	5,861	△70.3
2018年3月期第2四半期	17,763	49.8	9,147	86.2	10,020	90.0	19,754	293.9

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 13,490百万円 (5.0%) 2018年3月期第2四半期 12,851百万円 (-%)

(注) 2019年3月期第2四半期は、「収益認識に関する会計基準」を適用し、米国子会社を連結の範囲から除外した数値です。

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	189.51	-
2018年3月期第2四半期	498.92	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	194,496	168,889	86.8	5,460.22
2018年3月期	191,550	160,299	83.7	5,182.49

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 168,889百万円 2018年3月期 160,299百万円

(注) 2019年3月期第2四半期は、「収益認識に関する会計基準」を適用し、米国子会社を連結の範囲から除外した数値です。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	-	-	107.00	107.00
2019年3月期	-	-	-	-	-
2019年3月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 配当予想額は未定であります。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

当社はその事業特性から国内・海外の株式市場並びに新規上場市場の影響を強く受け、収益水準の振幅が大きくなるため、業績予想を合理的に行うことは困難であります。従って業績予想は行わず、四半期決算の迅速な開示をすることとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：有

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	32,550,000株	2018年3月期	32,550,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年3月期2Q	1,619,155株	2018年3月期	1,619,075株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	30,930,892株	2018年3月期2Q	39,594,991株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は2018年10月25日に当社ウェブサイトに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	12
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	12
(有価証券に関する注記)	13
3. 補足情報	15
(1) 投資実行額及びIPO(新規上場)の状況	15
(2) ファンドの設立の状況	16
(3) その他	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、売上高15,755百万円(前年通期29,470百万円)、経常利益7,388百万円(前年通期15,554百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,861百万円(前年通期24,235百万円)となりました。

(投資実行の状況)

当第2四半期連結累計期間の当社グループ及びファンドの投資実行額は14,618百万円(前年通期30,222百万円)、投資会社数は29社(前年通期67社)となりました。

(キャピタルゲインと新規上場の状況)

営業投資有価証券売上高は14,383百万円(前年通期23,470百万円)になりました。キャピタルゲインは、7,756百万円(前年通期13,621百万円)となりました。その内訳は上場株式の売却によるものが3,860百万円(前年通期11,281百万円)、上場株式以外によるものが3,896百万円(前年通期2,340百万円)であります。上場株式以外によるキャピタルゲイン3,896百万円の内訳は売却益5,456百万円(前年通期6,750百万円)・売却損1,559百万円(前年通期4,410百万円)であります。

また、当社グループ及びファンドの投資先からのIPO社数は、国内1社(前年通期7社)、海外なし(前年通期1社)となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A) (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間(B) (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	対前期比(%) [(B)×2]/(A)
営業投資有価証券 売上高①	23,470	13,976	14,383	122.6
売却高	23,322	13,889	14,331	122.9
配当金・債券利子	147	86	51	69.9
営業投資有価証券 売上原価②	9,848	5,711	6,626	134.6
売却原価	9,848	5,711	6,626	134.6
強制評価損	—	—	—	—
キャピタルゲイン ①-②	13,621	8,264	7,756	113.9
投資倍率 ①÷②	2.38	2.45	2.17	—
上場キャピタルゲイン	11,281	5,233	3,860	68.4
上場以外キャピタルゲイン	2,340	3,031	3,896	333.0
売却益	6,750	5,406	5,456	161.7
売却損	4,410	2,375	1,559	70.7

(投資損失引当金の状況)

営業投資有価証券については、その損失に備えるため、投資先の実情に応じ、損失見積額を計上しております。個別投資先ごとには、原則として回収見込額が取得原価の70%未満になったものを引当しております。

また、個別引当対象以外の投資残高に対しても、過去の実績等に基づいた損失見積額を一括して引当しております。これまで、厳選集中投資と投資先への関与度を高めてきたことにより、投資の質の向上が図られ、現在は、個別投資先の評価により精緻に行うことが可能になりました。これにより、2017年1月以降の投資分は、一括引当の対象としておりません。

当第2四半期連結累計期間の投資損失引当金繰入額は1,316百万円(前年通期2,283百万円)となりました。その内訳は、個別引当による繰入が1,605百万円(前年通期3,817百万円)、一括引当による繰入(△は取崩)が△289百万円(前年通期△1,534百万円)であります。

一方、個別引当について、引当対象投資先の売却や強制評価損等により1,461百万円(前年通期3,148百万円)を取り崩しました。その結果、投資損失引当金繰入額の純額(△は戻入額)は△144百万円(前年通期△865百万円)となりました。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の投資損失引当金残高は10,075百万円(前期末10,351百万円)、未上場営業投資有価証券残高に対する引当率は20.0%(前期末20.9%)となりました。

(単位:百万円)

	前連結会計年度(A) (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間(B) (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	対前期比(%) [(B)×2]/(A)
投資損失引当金繰入額①	2,283	1,344	1,316	115.4
個別繰入額	3,817	1,897	1,605	84.1
一括繰入(△取崩)額	△1,534	△553	△289	—
投資損失引当金取崩額②	3,148	1,929	1,461	92.8
投資損失引当金繰入額 (純額・△は戻入額) ①-②	△865	△584	△144	—

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)
投資損失引当金残高	10,351	10,075
個別引当残高	8,644	8,660
一括引当残高	1,707	1,415
未上場営業投資有価証券残高に対する引当率	20.9%	20.0%

(営業投資有価証券残高の状況)

上場営業投資有価証券の評価損益(取得原価と時価の差額)は10,129百万円(前期末9,633百万円)であります。その内訳は評価益(時価が取得原価を超えるもの)が10,302百万円(前期末9,850百万円)、評価損(時価が取得原価を超えないもの)が172百万円(前期末216百万円)であります。

なお、部分純資産直入法により、当第2四半期連結累計期間は△43百万円(前年通期△105百万円)を評価損(△は戻入益)として計上しております。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の営業投資有価証券残高は62,202百万円(前期末61,287百万円)となりました。

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)
上場営業投資有価証券の取得原価と時価の差額	9,633	10,129
時価が取得原価を超えるもの	9,850	10,302
時価が取得原価を超えないもの	△216	△172

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
部分純資産直入法に基づく営業投資有価証券評価損(△戻入益)	△105	62	△43

営業投資有価証券残高

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)	
	取得原価	連結貸借 対照表計上額	取得原価	四半期 連結貸借 対照表計上額
上場	2,035	11,669	1,690	11,820
未上場	46,528	47,743	47,337	48,554
小計	48,564	59,412	49,027	60,374
他社ファンドへの出資	1,807	1,874	1,734	1,827
合計	50,371	61,287	50,761	62,202

- (注) 1. 「他社ファンドへの出資」は、当社グループ以外の第三者の運営する投資ファンドへの出資であります。
2. 「未上場」及び「他社ファンドへの出資」の取得原価と連結貸借対照表計上額との差異は、外国為替の評価差額のみを反映しています。

(ファンドの管理運営業務)

当第2四半期連結累計期間のファンドの管理運営業務による収入は1,371百万円(前年通期5,987百万円)で、その内訳は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前連結会計年度(A) (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間(B) (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	対前期比(%) [(B)×2]/(A)
投資事業組合管理収入	5,987	3,782	1,371	45.8
管理報酬	3,551	2,011	899	50.7
成功報酬	2,435	1,770	472	38.8

(注) 管理報酬及び成功報酬は、当社グループの出資持分相当額を相殺した後の金額となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は116,173百万円(前期末121,839百万円)、固定資産は78,322百万円(前期末69,710百万円)で、資産合計は194,496百万円(前期末191,550百万円)となりました。

負債につきましては、流動負債は3,004百万円(前期末11,625百万円)、固定負債は22,602百万円(前期末19,625百万円)で、負債合計は25,606百万円(前期末31,251百万円)となりました。

純資産につきましては、168,889百万円(前期末160,299百万円)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは2,907百万円のキャッシュアウトフロー(前年通期7,425百万円のキャッシュインフロー)となりました。これは主に法人税等の支払によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは6百万円のキャッシュアウトフロー(前年通期24,732百万円のキャッシュインフロー)となりました。これは主に無形固定資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3,907百万円のキャッシュアウトフロー(前年通期69,046百万円のキャッシュアウトフロー)となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物は6,796百万円減少しました。また、JAFCO America Ventures Inc. 連結除外に伴い現金及び現金同等物は、930百万円減少しました。現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は62,359百万円(前期末70,086百万円)となりました。そのうち7,080百万円(前期末8,144百万円)はファンドの出資持分であります。また、当社グループが管理運営するファンドに対して当社グループが出資金として今後支払を約束している金額は、当第2四半期連結会計期間末で21,667百万円(前期末21,518百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社はその事業特性から国内・海外の株式市場並びに新規上場市場の影響を強く受け、収益水準の振幅が大きくなるため、業績予想を合理的に行うことは困難であります。従って業績予想は行わず、四半期決算の迅速な開示をすることとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	67,586	59,859
営業投資有価証券	61,287	62,202
投資損失引当金	△10,351	△10,075
有価証券	2,500	2,500
その他	816	1,686
流動資産合計	121,839	116,173
固定資産		
有形固定資産	296	311
無形固定資産	74	185
投資その他の資産		
投資有価証券	68,281	77,350
出資金	32	16
長期貸付金	139	6
繰延税金資産	245	49
その他	640	400
投資その他の資産合計	69,339	77,824
固定資産合計	69,710	78,322
資産合計	191,550	194,496

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	795	191
未払法人税等	9,350	1,622
賞与引当金	309	244
役員臨時報酬引当金	127	—
その他	1,044	946
流動負債合計	11,625	3,004
固定負債		
長期借入金	182	186
退職給付に係る負債	616	623
繰延税金負債	18,809	21,775
その他	17	17
固定負債合計	19,625	22,602
負債合計	31,251	25,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,251	33,251
資本剰余金	32,806	32,806
利益剰余金	54,005	54,967
自己株式	△7,585	△7,586
株主資本合計	112,477	113,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,961	54,467
為替換算調整勘定	△132	986
退職給付に係る調整累計額	△6	△3
その他の包括利益累計額合計	47,821	55,450
純資産合計	160,299	168,889
負債純資産合計	191,550	194,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高		
営業投資有価証券売上高	13,976	14,383
投資事業組合管理収入	3,782	1,371
その他の売上高	4	—
売上高合計	17,763	15,755
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	5,711	6,626
その他の原価	267	443
売上原価合計	5,979	7,069
売上総利益	11,783	8,685
投資損失引当金繰入額(△戻入額)	△584	△144
部分純資産直入法に基づく営業投資有価証券評価損 (△戻入益)	62	△43
差引売上総利益	12,305	8,873
販売費及び一般管理費	3,157	2,073
営業利益	9,147	6,799
営業外収益		
受取利息	38	36
受取配当金	771	659
為替差益	64	—
雑収入	23	12
営業外収益合計	898	709
営業外費用		
支払利息	19	2
為替差損	—	102
雑損失	5	15
営業外費用合計	25	120
経常利益	10,020	7,388
特別利益		
投資有価証券売却益	18,348	57
特別利益合計	18,348	57
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	28,369	7,445
法人税、住民税及び事業税	8,717	1,604
法人税等調整額	△103	△19
法人税等合計	8,614	1,584
四半期純利益	19,754	5,861
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,754	5,861

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	19,754	5,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,927	6,506
為替換算調整勘定	23	1,119
退職給付に係る調整額	0	3
その他の包括利益合計	△6,903	7,629
四半期包括利益	12,851	13,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,851	13,490
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	28,369	7,445
減価償却費	102	76
投資損失引当金の増減額(△は減少)	△584	△144
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26	△64
役員臨時報酬引当金の増減額(△は減少)	△156	△127
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19	6
部分純資産直入法に基づく営業投資有価証券評価損(△は戻入益)	62	△43
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1
受取利息及び受取配当金	△810	△696
支払利息	19	2
為替差損益(△は益)	21	222
投資有価証券売却損益(△は益)	△18,348	△57
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△1,385	△694
未収消費税等の増減額(△は増加)	74	△73
未払消費税等の増減額(△は減少)	186	△207
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,604	△769
その他の流動負債の増減額(△は減少)	43	628
その他	△9	△10
小計	5,972	5,494
利息及び配当金の受取額	810	696
利息の支払額	△20	△2
法人税等の支払額	△1,492	△9,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,270	△2,907
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23	△96
無形固定資産の取得による支出	△2	△149
投資有価証券の売却等による収入	23,166	78
長期貸付けによる支出	△9	—
長期貸付金の回収による収入	22	1
投資その他の資産の増加に伴う支出	△151	△10
投資その他の資産の減少に伴う収入	28	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,029	△6
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△1,028	△700
配当金の支払額	△4,429	△3,306
自己株式の取得による支出	△61,269	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,727	△3,907
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61	25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△38,488	△6,796
現金及び現金同等物の期首残高	107,179	70,086
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△930
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1,※2 68,691	※1,※2 62,359

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、当社の100%子会社であるJAF0 America Ventures Inc. (JAV) が受け取る管理報酬の収益計上の方法を変更するとともに、同社を連結の範囲から除外しました。

ベンチャーキャピタル業は地域性が高く、親会社が海外での投資活動を支配するマネジメントは適さないため、当社の米国投資は、ローカルのベンチャーキャピタリストから成るチームが独自のファンドを運営し、投資の意思決定も独自に行ってきました。

また、当該ファンド資金の調達は、従来は当社及び当社が国内において設立したファンドからの出資に依存していました。しかし、米国におけるファンドサイズの大型化に対応して、2013年からは独自のファンド募集を実行し、外部出資の割合も高まっています。さらに、米国におけるブランド強化の観点から、チーム名もIcon Venturesに刷新しました。

こうした状況を踏まえ、この度公表された「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用し、JAVの売上と経費を相殺表示した結果、当社の連結財務諸表に対する重要性が低下するため、JAVを当社連結の範囲から除外することとしました。

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 平成30年3月30日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日)が2018年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、以下の変更を行いました。

①JAVが受け取る管理報酬の計上方法の変更

管理報酬の収益計上方法を変更し、JAVがファンドから受け取る管理報酬は、JAVの販売費及び一般管理費と相殺した純額のみを収益として計上することといたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間の売上高が862百万円減少し、売上原価は260百万円増加し、販売費及び一般管理費は1,123百万円減少しております。

②成功報酬の収益認識の変更

当社が運用するファンドから受け取る成功報酬は、期末時点で将来、著しい減額が発生しない可能性が高いと見込まれる金額を未収収益として計上することといたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ69百万円減少しております。また、利益剰余金の当期末首残高は87百万円増加しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、次の①から③の処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

①履行義務の充足分及び未充足分の区分

②取引価格の算定

③履行義務の充足分及び未充足分への取引価格の配分

(連結の範囲の変更)

JAVについては、上記のとおり、管理報酬を純額表示とした結果、当社の連結財務諸表に対する重要性が低下したため、質的重要性も考慮し、同社を連結の範囲から除外し、非連結子会社とすることといたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間の売上高が112百万円減少し、売上原価は102百万円増加し、営業利益が214百万円減少しております。また、利益剰余金の当期末首残高は1,678百万円減少しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
現金及び預金勘定	66,691百万円	59,859百万円
有価証券勘定	2,000	2,500
現金及び現金同等物	68,691	62,359

※2 現金及び現金同等物のうちファンドの出資持分の内訳

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
現金及び預金勘定	9,787百万円	7,080百万円
有価証券勘定	—	—
現金及び現金同等物	9,787	7,080

3 当社グループが管理運営するファンドに対して当社グループが出資金として今後支払を約束している金額は、当第2四半期連結会計期間末で21,667百万円(前年同四半期末28,150百万円)であります。なお、前連結会計年度末では21,518百万円であります。

(有価証券に関する注記)

1. 満期保有目的の債券

該当事項はありません。

2. その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	前連結会計年度 (2018年3月31日)			当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)		
		取得原価	連結 貸借対照表 計上額	差額	取得原価	四半期連結 貸借対照表 計上額	差額
連結貸借対照表 計上額が取得原 価を超えるもの	営業投資有価証券に 属するもの						
	(1) 株式	1,662	11,512	9,850	1,231	11,534	10,302
	(2) 債券	—	—	—	—	—	—
	(3) その他	—	—	—	—	—	—
	小計	1,662	11,512	9,850	1,231	11,534	10,302
	投資有価証券に属す るもの						
	(1) 株式	9,380	67,389	58,008	9,348	76,273	66,925
	(2) 債券	—	—	—	—	—	—
	(3) その他	—	—	—	—	—	—
	小計	9,380	67,389	58,008	9,348	76,273	66,925
有価証券に属するもの	(1) 株式	—	—	—	—	—	—
	(2) 債券	—	—	—	—	—	—
	(3) その他	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—
	合計	11,042	78,901	67,859	10,579	87,807	77,228
連結貸借対照表 計上額が取得原 価を超えないも の	営業投資有価証券に 属するもの						
	(1) 株式	373	156	△216	458	285	△172
	(2) 債券	—	—	—	—	—	—
	(3) その他	—	—	—	—	—	—
	小計	373	156	△216	458	285	△172
	投資有価証券に属す るもの						
	(1) 株式	29	23	△6	61	53	△7
	(2) 債券	—	—	—	—	—	—
	(3) その他	—	—	—	—	—	—
	小計	29	23	△6	61	53	△7
有価証券に属するもの	(1) 株式	—	—	—	—	—	—
	(2) 債券	—	—	—	—	—	—
	(3) その他	2,500	2,500	—	2,500	2,500	—
	小計	2,500	2,500	—	2,500	2,500	—
合計	2,902	2,679	△222	3,020	2,839	△180	
総計	13,945	81,581	67,636	13,600	90,647	77,047	

(注) 1. 以下については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
	連結貸借対照表計上額	四半期連結貸借対照表計上額
その他有価証券		
営業投資有価証券に属するもの		
非上場株式	46,908	47,782
非上場内国・外国債券	829	767
その他	1,879	1,832
投資有価証券に属するもの		
非上場株式	868	1,023

(注) 2. 当第2四半期連結累計期間において、その他有価証券（時価を把握することが極めて困難と認められるものを含む。）について減損処理（取得原価の切下げ）はありません（前年通期403百万円、全て投資有価証券に属するもの）。

3. 補足情報

(1) 投資実行額及びIPO(新規上場)の状況

①投資実行額

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		前第2四半期 連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		対前期比(%) [(B)×2]/(A)
	金額(A)	社数	金額	社数	金額(B)	社数	
エクイティ							
(日本)	18,057	37	7,313	16	5,482	10	60.7
(米国)	7,101	19	4,423	13	7,107	12	200.2
(アジア)	5,063	11	2,784	6	2,028	7	80.1
合計	30,222	67	14,522	35	14,618	29	96.7

- (注) 1. 「投資実行額」は、当社グループ及びファンドの投資実行額の合計であります。  
 2. 外貨建の「投資実行額」については、四半期連結会計期間ごとにそれぞれの四半期末為替レートで換算した額を合計しております。  
 3. 海外のライフサイエンス投資(日本のベンチャー投資部門が担当)は日本に含めております。

②IPO(新規上場)の状況

(国内)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
社数(社)	7	5	1
投資額①	2,025	1,946	750
初値評価額②	23,343	20,927	6,768
倍率②/①(倍)	11.5	10.8	9.0

- (注) 1. 投資額及び初値評価額は、当社グループ及びファンドの合計であります。  
 2. 初値評価額は、上場前保有株式数に初値を掛けて算出してあります。

(海外)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
社数(社)	1	-	-
投資額①	380	-	-
初値評価額②	538	-	-
倍率②/①(倍)	1.4	-	-

- (注) 1. 投資額及び初値評価額は、当社グループ及びファンドの合計であります。換算レートは上場時の為替レートを用いています。  
 2. 初値評価額は、上場前保有株式数に初値を掛けて算出してあります。

(2) ファンドの設立の状況

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

①新規に設立したファンド

該当事項はありません。

②前期以前に設立し、コミットメント総額が増加したファンド

(単位：百万米ドル)

ファンド名称	2018年9月末 コミットメント総額	前期末時点 コミットメント総額	増加額
JAFCO Asia Technology Fund VII L.P.	140	128	12

(単位：百万米ドル)

ファンド名称	2018年9月末 コミットメント総額	前期末時点 コミットメント総額	増加額
Icon Ventures VI, L.P.	375	262	112

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

①新規に設立したファンド

(単位：百万米ドル)

ファンド名称	2018年3月末 コミットメント総額
JAFCO Asia Technology Fund VII L.P.	128

②前期以前に設立し、コミットメント総額が増加したファンド

(単位：億円)

ファンド名称	2018年3月末 コミットメント総額	前期末時点 コミットメント総額	増加額
ジャフコS V5シリーズ	750	650	100

上記増加額は、全額、当社の出資によるものです。

(単位：百万米ドル)

ファンド名称	2018年3月末 コミットメント総額	前期末時点 コミットメント総額	増加額
Icon Ventures VI, L.P.	262	225	37

(3) その他

当社は、その事業特性から収益水準の振幅が大きくなるため、前年同期との比較に替え、年換算した当第2四半期の実績と前連結会計年度通期実績による比較を行っております。当該比較による「連結経営成績(累計)」及び「連結財政状態」は、以下のとおりであります。

2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

1. 連結経営成績(累計)

	2018年3月期 通期 (A)	2019年3月期 第2四半期 (B)	対前期比 [(B)×2]/(A)
	百万円	百万円	%
売上高	29,470	15,755	106.9
営業利益	14,252	6,799	95.4
経常利益	15,554	7,388	95.0
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	24,235	5,861	48.4

	2018年3月期 通期	2019年3月期 第2四半期
	円 銭	円 銭
1株当たり 四半期(当期)純利益	687.04	189.51
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	—	—

2. 連結財政状態

	2018年3月期	2019年3月期 第2四半期
総資産(百万円)	191,550	194,496
純資産(百万円)	160,299	168,889
自己資本比率(%)	83.7	86.8
1株当たり純資産(円 銭)	5,182.49	5,460.22